

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月31日

上場会社名 アサヒホールディングス株式会社
 コード番号 5857 URL <http://www.asahiholdings.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺山 満春

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当 (氏名) 田辺 幸夫

TEL 03-6270-1833

四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	18,570	—	1,052	—	998	—	592	—
21年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	18.38	—
21年3月期第1四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	43,938	27,071	61.6	840.05
21年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 27,062百万円 21年3月期 一百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	36,000	—	1,600	—	1,600	—	900	—	27.94
通期	75,000	—	4,000	—	4,000	—	2,200	—	68.29

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	36,254,344株	21年3月期	一株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	4,038,817株	21年3月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	32,215,540株	21年3月期第1四半期	一株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、貴金属価格の相場変動等によって変動することがあります。
 (2) 当社は、平成21年4月1日にアサヒブリテック株式会社とジャパンウエイスト株式会社の共同株式移転により設立されました。当連結会計年度が第1期となるため、前期実績及び前年同四半期実績はありません。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成21年4月1日～平成21年6月30日)におけるわが国経済は、世界的な金融危機の深刻化から急速に悪化した景気について、底打ちの兆しが見えてきたものの、生産活動の低迷と企業収益の悪化に伴う設備投資の抑制や雇用不安が依然強く、厳しい状況が続きました。

このような経済状況のもと、当社グループは、事業領域ごとに顧客ニーズをより一層の確にとらえ、収益力の安定と継続的成長を図るため、当連結会計年度から持株会社制へ移行するとともに、新たにアサヒホールディングスグループとして、「V11 ～変革と創造を進めよう～」をスローガンに第5次中期経営計画(平成21年4月～平成24年3月)の実現に向け活動を開始しました。

貴金属リサイクル事業領域に関して、各金属の回収量は前年同期を下回りました。また、金属平均販売単価についても、前年8月から下落した市場価格が今年に入り緩やかに回復基調で推移しているものの、総じて前年同期の水準を大きく下回りました。

環境保全事業領域においても、景気の低迷により、廃試薬・廃液・汚泥の取扱量がいずれも前年同期を下回りました。なお、平成20年10月に完全子会社化した富士炉材株式会社の業績は堅調に推移し、環境保全事業の業績に寄与しました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の連結売上高は18,570百万円、セグメント別では、貴金属リサイクル事業が15,712百万円、環境保全事業が2,857百万円となりました。利益面では、連結営業利益は1,052百万円、連結経常利益は998百万円、連結四半期純利益は592百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、43,938百万円となり、当期首比で1,696百万円の減少となりました。その主な要因は、たな卸資産の減少993百万円と有形固定資産の減少552百万円によるものであります。

なお、純資産は27,071百万円となり、自己資本比率は61.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益996百万円に減価償却費515百万円を加え、たな卸資産の減少及び法人税等の支払等を加減した結果2,607百万円の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出520百万円等により、541百万円の減少となりました。主な設備投資は、基幹システムのバージョンアップに伴うソフトウェアの取得等であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の純減少額1,103百万円等により、1,900百万円の減少となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は2,008百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、平成21年5月12日の「平成22年3月期の業績予想及び配当予想について」で発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想通りであり、変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、当期首以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、当期首において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当社は、連結子会社であるアサヒブリテック株式会社とジャパンウェイト株式会社の共同株式移転により設立された完全親会社であり、採用する会計処理の原則及び手続は、従来アサヒブリテック株式会社が連結財務諸表作成に当たって採用していたものと同様であります。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間末
(平成21年6月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,008
受取手形及び売掛金	4,594
商品及び製品	2,566
仕掛品	5,495
原材料及び貯蔵品	61
その他	1,195
貸倒引当金	△7
流動資産合計	15,913
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	9,042
土地	11,296
その他(純額)	4,164
有形固定資産合計	24,502
無形固定資産	
のれん	1,657
その他	609
無形固定資産合計	2,266
投資その他の資産	1,254
固定資産合計	28,024
資産合計	43,938
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	1,944
短期借入金	12,200
1年内返済予定の長期借入金	7
未払法人税等	41
賞与引当金	288
修繕引当金	24
その他	2,020
流動負債合計	16,526
固定負債	
退職給付引当金	177
その他	162
固定負債合計	339
負債合計	16,866

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間末
(平成21年6月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	4,480
資本剰余金	4,510
利益剰余金	24,007
自己株式	△5,920
株主資本合計	27,077
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	3
繰延ヘッジ損益	8
為替換算調整勘定	△26
評価・換算差額等合計	△15
少数株主持分	8
純資産合計	27,071
負債純資産合計	43,938

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	18,570
売上原価	16,490
売上総利益	2,080
販売費及び一般管理費	1,027
営業利益	1,052
営業外収益	
受取利息	1
受取配当金	0
負ののれん償却額	0
その他	14
営業外収益合計	17
営業外費用	
支払利息	16
創立費	31
為替差損	17
その他	5
営業外費用合計	71
経常利益	998
特別利益	
固定資産売却益	0
特別利益合計	0
特別損失	
固定資産除却損	1
固定資産売却損	0
特別損失合計	2
税金等調整前四半期純利益	996
法人税、住民税及び事業税	51
法人税等調整額	353
法人税等合計	404
四半期純利益	592

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成21年4月1日
 至 平成21年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	996
減価償却費	515
のれん償却額	55
負ののれん償却額	△0
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	24
受取利息及び受取配当金	△1
支払利息	16
固定資産除売却損益 (△は益)	2
売上債権の増減額 (△は増加)	△183
たな卸資産の増減額 (△は増加)	993
仕入債務の増減額 (△は減少)	436
未払金の増減額 (△は減少)	△159
その他	35
小計	2,730
利息及び配当金の受取額	1
利息の支払額	△16
法人税等の支払額	△108
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,607
投資活動によるキャッシュ・フロー	
差入保証金の回収による収入	3
有形固定資産の取得による支出	△123
有形固定資産の売却による収入	2
無形固定資産の取得による支出	△397
その他	△27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△541
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,100
長期借入金の返済による支出	△3
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2
自己株式の取得による支出	△0
配当金の支払額	△793
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,900
現金及び現金同等物に係る換算差額	18
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	184
現金及び現金同等物の期首残高	1,824
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,008

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

（単位：百万円）

	貴 金 属 リサイクル事業	環 境 保 全 事 業	計	消去又は全社	連 結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	15,712	2,857	18,570	—	18,570
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,712	2,857	18,570	—	18,570
営業利益	1,513	207	1,721	(668)	1,052

(注) 1. 製品（商品及び役務を含む）の種類、性質の類似性を考慮し事業区分を行っております。

2. 各事業の内容

- (1) 貴金属リサイクル事業：主として貴金属原材料の回収・再生・加工・販売及び貴金属回収装置の製造・販売・賃貸
(2) 環境保全事業：主として産業廃棄物の無害化処理

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。